

ココロがある。

ミニディスクロージャー誌

お客さまとともに

平成22年3月期

(平成21年4月1日~平成22年3月31日)



ココロがある。コタエがある。
西日本シティ銀行

目指す銀行像の実現へ。

国内トップレベルのサービスを

地元で提供し、お客さまとともに栄える

九州No.1バンク



CONTENTS ココロがある。SIDE

トップメッセージ

①

地域の発展のために

②

日々のお役に立つために

⑥

地域の皆さまとともに歩んでいくために

⑩

経営理念

理念

西日本シティ銀行は、高い志と誇りを持って時代の变化に適応し、お客さまとともに成長する「九州No.1バンク」を目指します。

お客さまに一番近い

お客さまに一番近い銀行として、誠実に対応し、圧倒的に支持される銀行をめざします。

地域に貢献する

健全経営を基本に、地域に貢献し、積極的に社会的責任を果たすことで広く信頼される銀行をめざします。

期待に応える人づくり

あたたかな心とチャレンジ精神を持ち、自由闊達で積極果敢に行動する人づくりに努めます。

行動憲章

心がある

私たちは、いつもお客さまの身になって、丁寧に対応し、真摯にご相談に取り組みます。

情熱がある

私たちは、いつもお客さまの声に、熱く行動し、チャレンジし、スピーディにお応えします。

夢がある

私たちは、いつもお客さまの期待をこえた、新しく、価値のある提案をお届けします。

地域の発展のために

取締役頭取 久保田 勇夫



合併5周年にあたり、 さまざまな 記念事業を展開

私どもが合併5周年を迎えることができたのも、ひとえに、株主の皆さま、お取引先の皆さま、地域の皆さまの温かいご支援とご愛顧の賜物と感謝しております。その感謝の気持ちを込めて、昨年からはさまざまな合併5周年記念事業を行ってまいりました。

株主の皆さまのこれまでのご支援に感謝し、昨年末から今年3月まで「合併5周年記念 株主優待定期預金」を販売しました。また昨

年12月には「地域との共栄」を

テーマに、市民の

皆さまと行員との

合唱団によるチャ

リティコンサート

「シテイで第九」

を開催しました。

今年4月には、

地域の活性化に貢

献したいとの思い

から、「九州・日本・アジアの環境

先進技術の情報発信」および「福

岡のポテンシャルと未来展望」をコ

ンセプトとした「発信・ふくおかル

ネツサンス『NCBビジネスフェア』

を開催しました。

経済環境について

景気自体は一般的に言われている

よりはかなり強いという感じを持つ

ています。要因は2つ考えられま

す。ひとつは海外経済の強さに伴う

堅調な輸出による要因、もうひとつ

は景気刺激策という国内要因で

す。先行きについては不透明な面が

ありますが、海外経済に伴う要因

は引き続き強いのではないでしょう

か。将来の判断は難しいところです

が、いずれにしても、私どもは、地域

金融機関として地域の発展のため

にしっかりと努力してまいります。

いよいよ中期経営計画 「New Stage 2008」の 最終年

最終年

私どもは「国内トップレベルのサー

ビスを地元で提供し、お客さまと

ともに栄える九州No.1バンク」を目

指す銀行像として掲げ、その実現

に向けて様々な取組みを行ってまい

りました。

たとえば個人のお客さまにとって

最も身近である店舗内のATMコー

ナーを平日23時までご利用いただ

けるように、時間延長取扱店舗

を50か店から179か店へ拡大しま

した。

貯蓄から投資への流れの中で多様

化するお客さまの資産運用ニーズに

お応えするため、今年5月に証券

子会社を開業し、専門性の高い資

産運用相談やコンサルティングサー

ビスを提供してまいります。

また、地元企業と成長著しいア

ジアとのビジネス支援をこれまで以

上にサポートするために、従来の「国

際営業部」を発展的に改組して「国

際部」を設置し、併せて「国際部」

内に「国際ビジネス支援室」を新

設しました。「国際ビジネス支援室」

では、「グローバルビジネス・サポー

トセンター」を運営し、輸出入取

引や海外進出に限らず、海外との

ビジネスに関する幅広いご相談にお

応えることで、お取引先の国際

ビジネスをサポートしてまいります。

中期経営計画最終年に当たる今

年は、総合金融サービスの提供に

向けた更なる体制強化を図り、次

のステージへの布石としたいと思っ

ます。

これからも、地域の皆さまのご支

援とご愛顧にお応えし、期待を超

える質の高い総合金融サービスの提

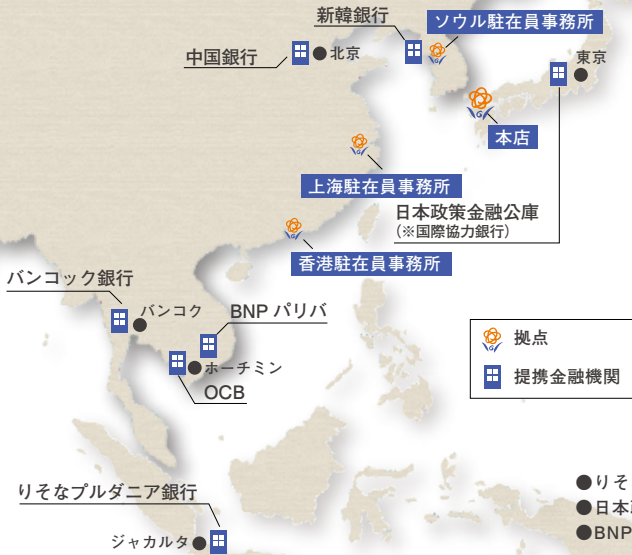
供を通じて、地域経済の発展にこれ

まで以上に貢献してまいります。

An aerial photograph of a city skyline at dusk. The sky is a mix of light blue and grey, with some clouds. The city below is densely packed with buildings, many of which are illuminated with lights. The water of a bay or harbor is visible in the middle ground, with some boats and structures. The overall mood is serene and modern.

地域に密着し、世界へ発信。
企業のグローバル化をサポート。

ココロがある。



- リソナプルダニア銀行(インドネシア)平成8年提携 ●中国銀行(中国)平成13年提携
- 日本政策金融公庫(日本)平成13年提携 ●新韓銀行(韓国)平成19年提携 ●OCB(ベトナム)平成20年提携
- BNPパリバ(ベトナム)平成20年提携 ●バンコック銀行(タイ)平成21年提携

海外とのネットワーク
充実により、地元企業の
海外進出を支援します

地元企業の国際ビジネス拡大をサポートするため、企業の進出ニーズが高いアジア地域の金融機関との業務提携による海外ネットワークの拡充に取り組んでいます。

提携先の海外現地金融機関を通じて、海外ビジネスに役立つ現地で各種金融サービスや多様な情報提供などを行っています。

また、国内での商談会においても提携先銀行の協力を得て海外の有力企業を日本へ招き、地元企業へ商談の機会をご提供しています。

海外ビジネスに関する
相談に迅速にお応えします

「国際部」新設 国際業務を一元化

地元企業にとって、アジアの成長過程にいかに関わって行くかが重要な経営課題となるなか、国際情勢の変化を先取りした貿易決済や為替リスクヘッジなど、最先端の商品・サービスを迅速に提供できる体制とするために、平成22年5月に国際業務部門を再編し「国際部」を新設しました。

また、「国際ビジネス支援室」を新設し、貿易・海外進出等に関する相談窓口「グローバルビジネス・サポーターセンター」の運営を通じて、輸出入取引や海外進出に限らず地元企業の海外への事業展開、グローバル化へのビジネスに関する幅広いご相談にお応えします。

「NCB外為スーパーダイレクト」の取扱開始

従来から企業や個人事業主の皆さまにご利用いただいていた「NCB外為ダイレクト」の機能や

サービス内容をより充実させた「NCB外為スーパーダイレクト」の取り扱いを平成22年6月1日より開始しました。

ご利用可能時間の延長や外国送金の当日受付が可能となりました。特に中国向けの米ドル建て送金については、これまで2〜4日掛かっていた受付から送金到着までの時間を大幅に短縮し、最短で当日中の到着も可能となりました。

(注)ご利用には、事前の登録お申込み及び月額基本手数料2,100円(消費税等込)等が必要です。



アジアの最新情報を 発信しています

「中国セミナー」の開催

地元の皆さまに海外の最新情報を提供するためにトップクラスの講師陣を中国などから招き、

平成21年10月に「中国セミナー」を開催しました。第1部の基調講演では、中国政府のシンクタンクである「中国国務院発展研究センター」の社会发展研究部副部长林家彬氏を招き「現下の中国経済事情と中長期的課題」と題し、著しい経済発展を遂げる中国の最新事情をお伝えしました。第2部では、海外で活躍されている現役企業経営者の方などが、海外進出にあたってのポイントなどについて、「中国・華南地区における中小企業のビジネスチャンス」と題したパネルディスカッションを行い、中国との貿易や投資を検討されている方々が参加されました。

●セミナー内容を冊子にまとめました。





西日本シティT T証券

お客さまの
幅広いニーズに
お応えします。

ココロがある。

《西日本シティ銀行グループ全体像》



西日本シティ銀行グループは、多様化・高度化する、お客さまの幅広いニーズにお応えできるよう日々進化を続けています。

平成22年5月6日には、個人・法人を問わず多様化する金融資産運用ニーズにお応えするため『西日本シティ T T 証券』を開業しました。

これからも、個人、中小企業等の法人など、それぞれのお客さまのニーズに対し、期待を超える質の高い総合金融サービスの提供を通じて、お客さまに一番近く、最も選ばれる銀行を目指してまいります。

進化する
西日本シティ銀行グループ

● 最適な金融サービスの提供のために

西日本シティ T T 証券

西日本シティ銀行グループにおける金融商品を拡充するとともに、専門性の高い資産運用相談やコンサルティングサービスを提供しています。

本店営業部/福岡市博多区博多駅前3-1-1 TEL092-707-0377
天神支店/福岡市中央区天神1-12-1 TEL092-761-3431
北九州支店/北九州市小倉北区魚町3-5-5 TEL093-482-1666

長崎銀行

当行のエリアカンパニーとして、長崎地区を中心に、西日本シティ銀行グループの持つ総合金融サービスを提供しています。

九州カード

当行のオールインワンカードの発行を行うカード会社です。国内で、海外で、安全確実なカード決済サービスを提供しています。なお、当社は消費者ローンの保証業務も行っています。

● 経営課題解決ニーズをサポート

NCB リサーチ&コンサルティング

人材育成のための研修・セミナーの開催や環境・省エネに関するコンサルティング等のサービスならびに情報を提供することでお客さまのシンクタンクとして活躍しています。

NTTデータNCB

お客さまの情報システム業務効率化、環境対策やコスト削減に向けたサービスを提供しています。

● お客さまに多様で高度なサービスを提供するために西日本シティ銀行グループを支える企業群

西日本信用保証…住宅ローンの保証 NCB モーゲージサービス…不動産評価鑑定 九州債権回収…債権管理回収業務
NCB オフィスサービス…人材派遣 NCB ビジネスサービス…事務受託業務 NCB ターンアラウンド…企業再生支援業務

九州の元気を応援します

「志、情熱企業」～中小企業応援テレビ番組～

地元企業の中で、技術力やノウハウ等を持つ特徴ある企業を紹介するテレビ番組を毎週土曜日に放映中です。当番組で紹介した企業は100社を超えました。当行ホームページ(<http://www.ncbank.co.jp>)でも番組内容をご覧いただけます。



お客さまのライフプラン
実現のお手伝い

「5年後、10年後、20年後に自分がどんな人生を歩んでいるか。」「何歳までに何をしたいか、どうなっていたい。」という将来のライフプランを描いてみるだけでも夢に手が届きそうな気分になり楽しいものです。

私たちは、お客さまの将来の夢や希望の実現に向けてのお手伝いをしたいと思っています。

そのために、どれくらいのお金が必要かなどを話しながら、お客さまひとりひとりのニーズに適したご提案やアドバイスをしています。

当行では、各店にマネー・アドバイザー、その他にもチーフ・マネー・アドバイザーやプライベートバンカーなどの資産運用相談専門のスタッフを配置し、お客さまのライフプラン実現へのお手伝いをしています。



営業推進部 プライベートバンカー 藤本 勝也



営業推進部 チーフ・マネー・アドバイザー 齊藤 真紀



雑餉隈支店 マネー・アドバイザー 石橋 由美子



福岡支店 マネー・アドバイザー 市川 智也

土曜日、日曜日も
ご利用いただけます！
「NCBアルファ天神」

「平日は忙しくてなかなか銀行に相談に行けない」というお客さまはぜひお立ち寄りください。「NCBアルファ天神」は福岡市の中心「天神」にある資産運用のコンサルティングプラザで、平日は19時まで、土・日・祝日は17時まで営業しています。

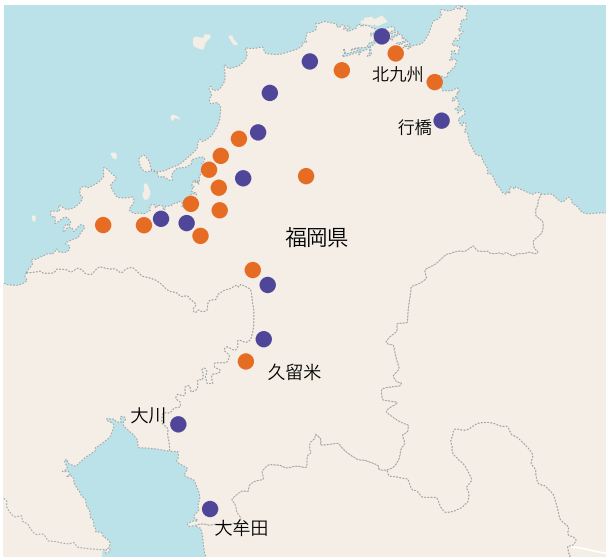
資産運用相談専門のスタッフが、落ち着いた雰囲気での相談ブースで、ゆっくりとお話をお伺いさせていただきながら、お客さまのライフプランに合わせてご提案をしています。

また、お客さま向けの無料セミナーも行っていきます。暮らしに役立つ身近な話題から現在の経済環境まで、様々なテーマで開催していきますので、お気軽にご参加ください。



NCB アルファ天神
川野 絵美

福岡市中央区天神2-15-28
西日本シティ銀行大名支店ビル4階
平日9時～19時、土日祝日10時～17時
(12月31日～1月3日及び5月3日～5日を除きます。)



● ローン営業室 ● NCBいつでもプラザ

ローン営業室

- ローン天神営業室（大名支店ビル6F）
- ローン福岡営業室（福岡支店内）
- ローン香椎営業室（千早支店内）
- ローン新宮営業室（新宮支店2F）
- ローン姪浜営業室（姪浜駅前支店3F）
- ローン福岡南営業室（老司支店内）
- ローン古賀営業室（イオンスーパーセンター古賀店出張所内）
- ローン二日市営業室（西鉄二日市駅前支店内）
- ローン北九州営業室（小倉支店内）
- ローン北九州西営業室（折尾支店2F）
- ローン北九州東営業室（下曽根駅前出張所内）
- ローン飯塚営業室（穂波支店内）
- ローン久留米営業室（久留米センター出張所内）
- ローン前原営業室（前原支店2F）
- ローン粕屋営業室（粕屋支店2F）

【営業時間等】

平日9:00～17:00 土日10:00～17:00／休業日…12/31～1/3、5/3～5/5、祝日（但し祝日が土・日曜日の場合は営業）、振替休日
 ※ローン古賀営業室…平日は10:00～18:00 ローン福岡営業室…土日祝日は休業

NCBいつでもプラザ

- 田島支店（ダイエー笹丘店内）
- 赤間支店（サンリブくりえいと宗像内）
- ゆめタウン遠賀出張所
- ショッピングモールマリナタウン出張所
- 福岡東サティ出張所
- ゆめタウン久留米出張所
- ゆめタウン筑紫野出張所
- イオン戸畑出張所
- ゆめタウン大牟田出張所
- イオンスーパーセンター古賀店出張所
- ゆめタウン行橋出張所
- ゆめタウン大川出張所

【営業時間等】

平日10:00～20:00 土日祝日10:00～17:00／休業日…12/31～1/3、5/3～5/5、ショッピングセンター店休日
 ※田島支店、赤間支店…平日は9:00より ゆめタウン遠賀出張所…平日は18:00まで

週末もローンの相談にお越しください
 「ローン営業室・NCBいつでもプラザ」

「土・日にゆつくりローンの相談ができたらいいな。」
 とさまざまな生活スタイルのお客さまが気軽にローンについてご相談いただけるように、土・日曜日の相談窓口を福岡県下27か所に設置しています。

「ご自宅の新築・ご購入、既存の住宅ローンのお借換えなどの住宅に関するローンをはじめ、お車のご購入やお子さまの教育資金に関するローンなどもお気軽にご相談ください。」

土・日曜日はお近くの「ローン営業室」「NCBいつでもプラザ」にぜひお越しください。

（注）営業時間、営業日については、下表をご覧ください。

金融円滑化への取組み

当行は経営理念に「お客さまに一番近い銀行として、地域に貢献し、積極的に社会的責任を果たすことで広く信頼される銀行をめざします」と掲げております。

この理念に基づき、従来より地域金融の円滑化に積極的に対応するよう努めてまいりましたが、平成21年12月に「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律（中小企業金融円滑化法）が施行されたことを受け、お客さまのご相談、ご要望に、より迅速かつ適切に対応できるように、さらに体制を強化しました。

金融円滑化相談窓口

最寄りの窓口でお気軽に相談いただけるよう、すべての営業店の融資窓口及びビジネスサポートセンター、ローン営業室等においてご相談・お申込みを承っております。

平日23時までご利用可能なATMを増やしました

平成21年12月より、平日23時までご利用いただける店舗内ATMコーナーを50か店から179か店に拡大しました。

また、併せてお客さまのご利用ニーズが高い、日祝日の早朝、及び夜間のATMご利用時間帯を見直し、朝8時から夜21時までに変更しました。

これにより179か店の店舗内ATMコーナーで、平日は23時まで、土日祝日は21時までの「お引き出し・お振り込み（振り込み予約）」が、ご利用いただけるようになりました。

（注）設置場所により、ATMのご利用時間が異なりますので、あらかじめご了承ください。



ATMでの申込受付がスタート
「NCBキャッシュエース」
「NCBおまとめローン」

急な出費が必要なお役立ていただけるカードローン「NCBキャッシュエース」、お借入金を一本化して、月々の返済額を軽減するローン「NCBおまとめローン」。

このたび、お近くの当行ATMでローンのお申込みが簡単に出来るようになりました。

さらに、「NCBキャッシュエース」なら、郵送でもご契約いただけます。また、専業主婦やパート・アルバイトの方もお申込みいただけます。

平成22年6月の改正貸金業法の完全施行に伴うお客さまのお借換えニーズに、地元の金融機関として積極的に取り組んでまいります。



お申込方法も
とっても便利に：
「オールインワンカード」

「キャッシュカード・クレジットカード・ローンカード」の3つの機能が1枚に収まった「オールインワンカード」。

ATMでの入出金に加え、お買い物にもご利用でき、急な出費もカードローンでバックアップ。

さらに、当行のキャッシュカードをお持ちの方なら、平成22年4月からは、店頭における「印鑑無し」でのお申し込みも可能となりました。

また、「NCBスタートパック」でお申し込みいただくと、「NCBダイレクト（レフォンバンキング・インターネットバンキング・モバイルバンキング）」のお申込みも、一度に出来るようになりました。

ご契約後、カード作成月から1年間は、当行・ローン・九州内のam/pmのATMご利用手数料、クレジットカード年会費が無料です。



（注）銀行及び保証会社所定の審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。ベーシックカードの年会費は通常1,312円（消費税等込）です。

カンタン、ラクラク
ダイレクトバンキングサービス
「NCBダイレクト」

「振り込みをしたいけど、今日は窓口に行く時間がない...」

そんな時ご利用いただきたいのが個人のお客さま向けダイレクトバンキングサービス「NCBダイレクト」。

来店不要でお振り込みや預金のお振り替え、定期預金などの手続きができる「レフォンバンキング」「インターネットバンキング」「モバイルバンキング」があります。

なかでも、インターネットバンキングなら、取引明細のご確認やネットショッピングの決済、ご住所の変更が「カンタン操作」でもとても便利です。さらに、当行本支店間のお振り込みや住宅ローンの金利変更・繰上返済も手数料無料で、とてもお得です。

（注）ご利用には事前の登録お申込みが必要です。





「マナーのご相談ならお任せ...」
「NCB資産運用」

お客さまの資産運用ニーズに、専門スタッフが「ふやす・つかう・のこす」方法を総合的にアドバイスします。「充実したセカンドライフを過ごしたい...」「愛する家族に円満・確実に遺したい...」

お客さまのお金に関する様々なニーズに適したご提案やアドバイスをいたします。

「定期預金」をはじめ、「投資信託」「個人年金保険」「終身保険」など豊富なラインナップを揃えており、バランスよく資産形成のお手伝いをいたします。お気軽にご相談ください。

「電話で資産運用について聞いてみたい。」「ローンの相談はしたいけど店頭まで行く時間がなくて...。」「そんなお客さまに気軽にご利用いただけるフリーダイヤルがあります。預金商品などの資産運用についてお問い合わせが出来る「NCBナイスコール」、そして、ローン商品のご相談やお申込みができる「ローンコールデスク」です。

預金商品については
NCB ナイスコール
ナイス コール
 ☎ **0120-714-506**

ローン商品については
ローンコールデスク
ナイス クイック
 ☎ **0120-714-919**

【受付時間】月～金曜日 9:00～20:00
(銀行休業日は除きます)

ローン専用サイト
<http://714919.jp>

「電話で資産運用について聞いてみたい。」「ローンの相談はしたいけど店頭まで行く時間がなくて...。」「そんなお客さまに気軽にご利用いただけるフリーダイヤルがあります。預金商品などの資産運用についてお問い合わせが出来る「NCBナイスコール」、そして、ローン商品のご相談やお申込みができる「ローンコールデスク」です。

また、ローンに関しては、パソコンや携帯電話画面でいつでも便利に各種ローンのシミュレーションやご相談、仮審査のお申込みなどができるローン専用サイト「ナイスクリック：jp」もご利用ください。

**ご来店不要で
 お問合せやローン申込
 ができる窓口があります**

安心に向けて取り組んでいます(金融犯罪対策)

金融犯罪にご注意ください！

銀行員や警察官を装い「キャッシュカードが偽造されている。」「あなたの口座が犯罪に利用されている。」などとお客さまの不安を煽って、言葉巧みに暗証番号を聞き出し、キャッシュカードを騙し取って出金する犯罪が発生しています。

当行行員や警察官が、電話や店舗外で暗証番号をお尋ねしたり、キャッシュカードをお預かりすることはありません。

したがって、外部からの照会に対して暗証番号を回答したり、キャッシュカードを渡すことのないよう十分ご注意ください。

反社会的勢力への対応について

当行は、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力との関係遮断に向けた取り組みを行っています。政府が策定した「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」(平成19年6月19日犯罪対策閣僚会議幹事会申合せ)等を踏まえ、融資取引の約定書や普通預金規定等の各種規定を改定し、暴力団等の反社会的勢力を排除する条項(「暴力団排除条項」)を導入しています。

「金融犯罪被害に関する相談窓口」 ☎ 0120-797-919

【受付時間】月～金曜日 9:00～17:00 (銀行休業日は除きます)

「発信・ふくおかネットササンス」
NCBビジネスフェア

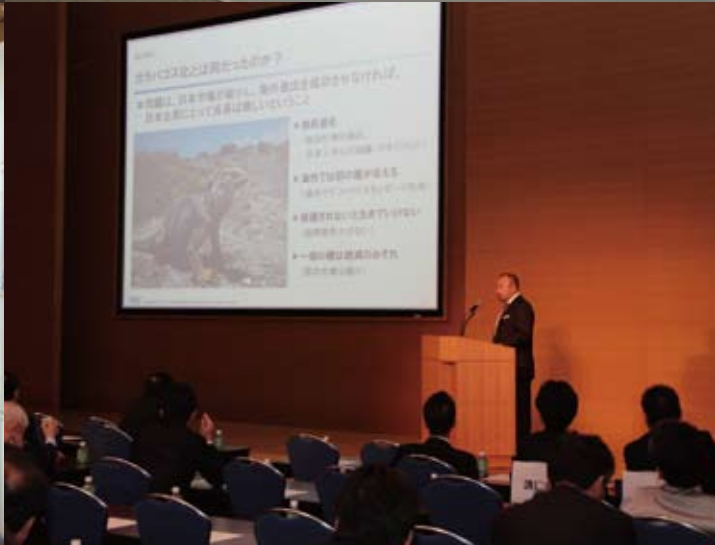
「地域との共栄」を基本コンセプトとした合併5周年記念事業の一環として、「発信・ふくおかネットササンス」NCBビジネスフェア」を4月27日・28日、福岡国際会議場で開催しました。「九州・日本・アジアの環境先進技術の情報発信」および「福岡のポテンシャルと未来展望」をテーマに、地域社会の活性化を目的として、様々なイベントを実施しました。



「環境先進技術の展示会・商談会」

環境分野において先進的な技術や商品を展開する企業、大学、行政・研究機関約100先が出展しました。日本のみならず、中国、台湾の企業も出展し、最先端の情報を発信しました。

展示ブースでは、2日間で約5,000件の商談が行われ、出展者・来場者の皆さまに新たなビジネス創出の機会を提供することができました。





コーディネーター / 多田 昭重氏 (西日本新聞社代表取締役会長)

- パネリスト 石瀧 豊美氏 (福岡地方史研究会会長)
 神崎 公一郎氏 (プロジェクト福岡代表)
 重洲 雅敏氏 (北九州商工会議所会頭)
 細川 白峰氏 (聖福寺老大師)
 味酒 安則氏 (太宰府天満宮文化研究所主管)

「環境や経営をテーマとしたセミナー」
 環境セミナーでは、「直流化時代の到来!! 省エネから創エネ・蓄エネ・配エネへ」と題したセミナーと、「台湾電動車産業 機会と挑戦」と題したセミナーを、また、経営セミナーでは、「脱ガラパゴス戦略」と題したセミナーを実施しました。これらのセミナーには、合計で550名を超える方々が参加され、参加された皆さまにビジネスの最新情報をお届けしました。

基調講演・パネルディスカッション

「福岡のポテンシャルと未来展望」をテーマにしたメインホールイベントでは、「発信・ふくおかルネッサンス」と題した基調講演 (講師・当行頭取 久保田勇夫)

NCBビジネスフェアの総来場者数は、2日間で約6300名にのぼり、盛会のうちに終了しました。今後も、地域に根ざす金融機関として、地域振興に貢献するために様々な取組みを行ってまいります。



コーディネーター / 神田 紅氏 (講師)

- パネリスト 青木 麗子氏 (福岡県留学生サポートセンター長)
 都築 仁子氏 (都築学園グループ学園総長)
 西川 ともゑ氏 (博多ごりよんさん・女性の会会長)
 深町 宏子氏 (北九州商工会議所女性会会長)
 松岡 恭子氏 (建築家)
 マルゴ・キャリントン氏 (在福岡アメリカ領事館首席領事)

に続き、各分野の第一人者が福岡の持つ歴史的背景・特色・アジアとの関わり等を披露し、福岡の未来を展望する「福岡の歴史と未来を語る」や、様々な分野で活躍する女性たちが福岡の未来を熱く語る「流れを変える福岡の女性たち」と題したパネルディスカッションを2日間にわたり実施しました。2日間で約1,650名の方々が参加され、福岡の未来展望についてともに考える場となりました。

市民と行員による合唱で、地域に活力をチャリティコンサート
 「シティで第九」

合併5周年を迎える当行の「感謝」の気持ちを表すとともに「地域との共栄」を表すイベントとして、平成21年12月、日本人になじみの深い交響曲第九番「第九」のコンサートを、市民の皆さま・行員で結成した合唱団と地元オーケストラによる演奏で開催し、地域の皆さまに披露しました。





クイズを通じて、お金に関する知識を高めてもらう
 「エコノミクス甲子園」九州大会開催

平成21年12月、「エコノミクス甲子園」九州大会を開催しました。
 日本社会の構造変化に伴い、金融経済環境においても自己責任が問われる中、若者への金融経済教育の重要性が高まっていることから、社会に出る直前の高校生に本大会を通じて金融経済をクイズ形式で楽しみながら学んでもらうことを目的として、3年前から開催しています。
 大会本番では九州各地から参加した多数の高校生たちが熱戦を繰り広げました。



最新の経済金融情報をお届けします
 『新春経済講演会』

時々刻々と社会が変化する中、経済・金融についての情報をタイムリーにお届けする機会として、昨年に引き続き、地域の皆さまをお招きし、新春経済講演会を開催しました。(平成22年1月)
 今回は、「2010年経済・金融の見通し」世界、日本、そして九州」と題し、最新の経済金融情報をお伝えしました。
 今後も皆さまのお役に立つ情報を提供する機会を設けていきます。



地元の歴史や文化を紹介しています
 「九州流」
 「博多に強くなるう・北九州に強くなるう」

地元の歴史や文化を地域に広めることにより、地域文化の向上に寄与することを目的とし、2種類の広報誌を発行しています。「九州流」は、地域の文化を国際的なレベルで見直す、ふるさと発見誌」として、平成21年に創刊しました。「博多に強くなるう・北九州に強くなるう」は地元の様々な歴史や文化をわかりやすく紹介する刊行物として、昭和54年から発行し、現在94号に至りました。

地域の優れた経営者を表彰
**【財団法人九州・山口地域
 経済貢献者顕彰財団】**

九州・山口地域において産業の開
 発、経済の発展に特に寄与している
 中堅・中小企業で、経営面・技術
 面に優れた業績を有する経営者の
 方々を毎年表彰し、「経営者賞」を
 授与しています。昭和47年の財団
 創設以来、表彰は37回を数え、受
 賞者は142名となりました。

受賞者が経営する企業のうち、
 上場または店頭公開を果たされた
 企業も多数あります。



アジアとの
 国際交流のお手伝い
【財団法人西日本国際財団】

アジア諸国との国際交流を推進
 することにより、国際相互理解の
 促進、国際的人材の育成、及び地
 域との交流を目的とした事業活動
 を行っています。

また、九州・山口・沖縄地域を
 対象に、アジアとの国際交流に貢献
 した団体・個人を表彰する「アジア
 貢献賞」、子どもたち自身が国際交
 流活動を行っている学校等を表彰す
 る「アジアKids大賞」を設けて、
 地域で草の根活動を通して活躍して
 いる方々の国際交流事業を支援してい
 ます。



毎月ミニコンサートを
 開催しています
【財団法人福岡文化財団】

皆さまに愛され25年間続く、「プ
 ロムナードコンサート」。本店エントラ
 ンスホールで毎月1回開催し、平成22
 年12月で300回を迎えます。

また、福岡市内小学校で本物のク
 ラシック音楽演奏や大道芸、フォーマン
 スを披露する「ふれあいライブ」は、
 子どもたちに大変喜ばれています。

主催する福岡文化財団は、美術、
 音楽、演劇等芸術を通して、文化の
 向上を図り、より豊かな地域社会につ
 くり貢献する活動を行っています。



子どもたちの希望を
 未来へつなぐお手伝い
【日本ユニセフ協会九州本部】

世界の子どもたちが平和で健康に
 暮らせるようにと活動している日本ユニ
 セフ協会の九州本部の創立以来、当行
 が事務局を担当しています。

当行は、その活動をサポートしてお
 り、合併5周年事業の環として「ユニ
 セフ外国コイン募金キャンペーン」を平
 成22年3月末まで実施しました。ユニ
 セフの取組みを多くの皆さまに知って
 いただき、また、募金にご協力いただ
 くことで地域の皆さまとともに社会貢献
 に取り組みたいと願い、当行全店ならび
 に趣旨に賛同いただいた福岡市内の主
 要ホテル等に募金箱を設置し、募金
 活動のお知らせや募金の呼びかけを行
 いました。



コタエがある。

ミニディスクロージャー誌

業績・財務データ

平成22年3月期

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)



ココロがある。コタエがある。
西日本シティ銀行



CONTENTS

コタエがある。SIDE

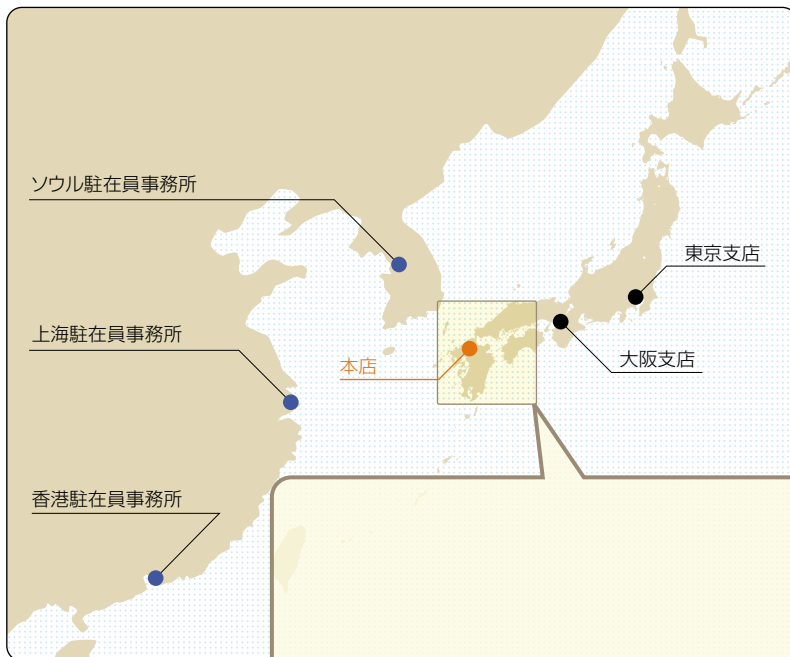
店舗網のご案内	①
平成22年3月期業績ハイライト	②
株式の状況	⑤
平成22年3月期財務諸表	⑥

プロフィール

商号	株式会社西日本シティ銀行
設立	昭和19年12月1日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前3丁目1番1号
資本金	857億45百万円
店舗数	208か店
従業員数	4,016名
総資産	7兆484億円
預金・譲渡性預金残高	6兆3,038億円
貸出金残高	4兆9,315億円
	(平成22年3月31日現在)

※計数につきましては、原則として単位未満を切り捨てて表示しております。

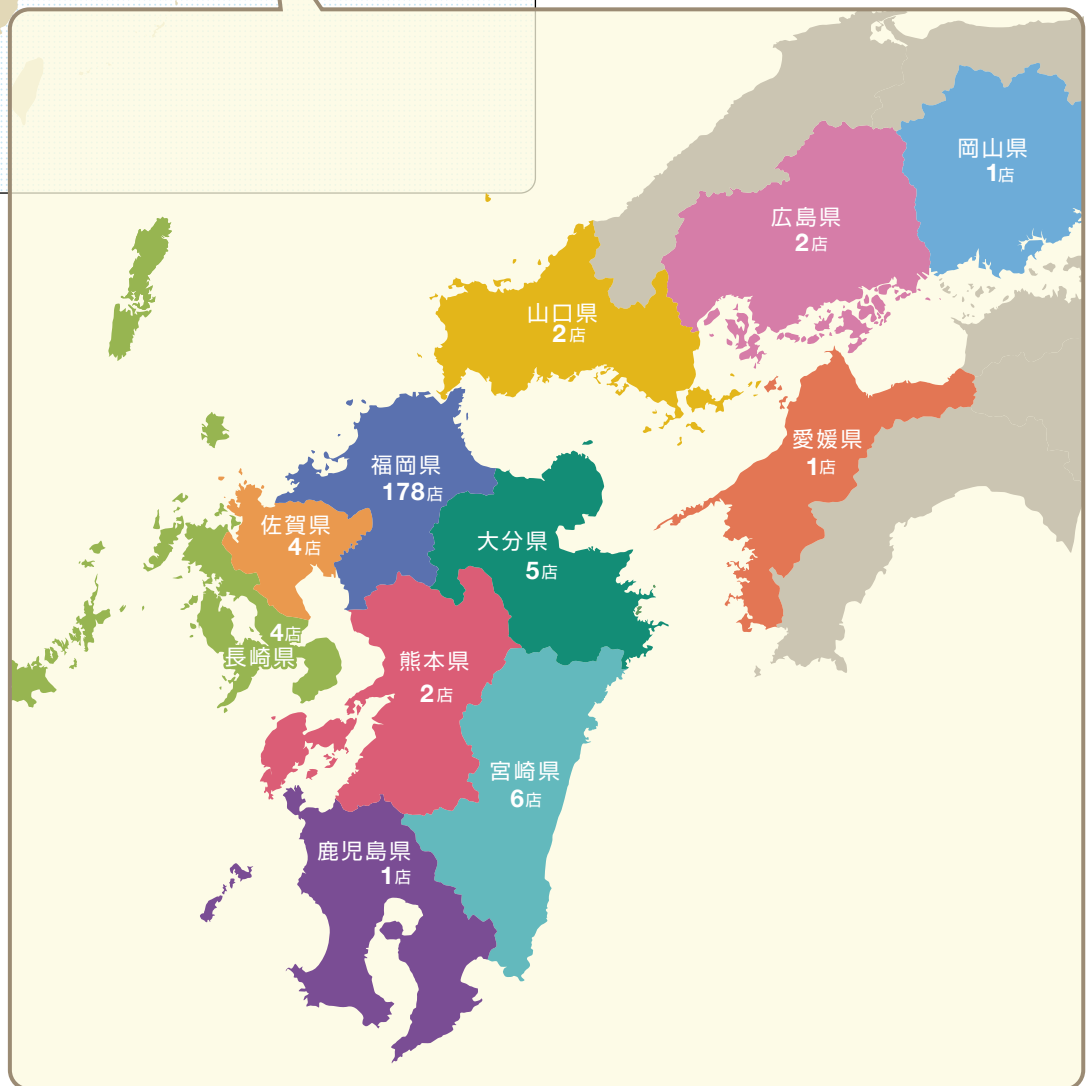
平成22年6月発行 株式会社 西日本シティ銀行 広報文化部 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3丁目1番1号 TEL 092-476-1111 (代表) ホームページ ▶<http://www.ncbank.co.jp>



●店舗数 208か店

●海外駐在員事務所 3か所

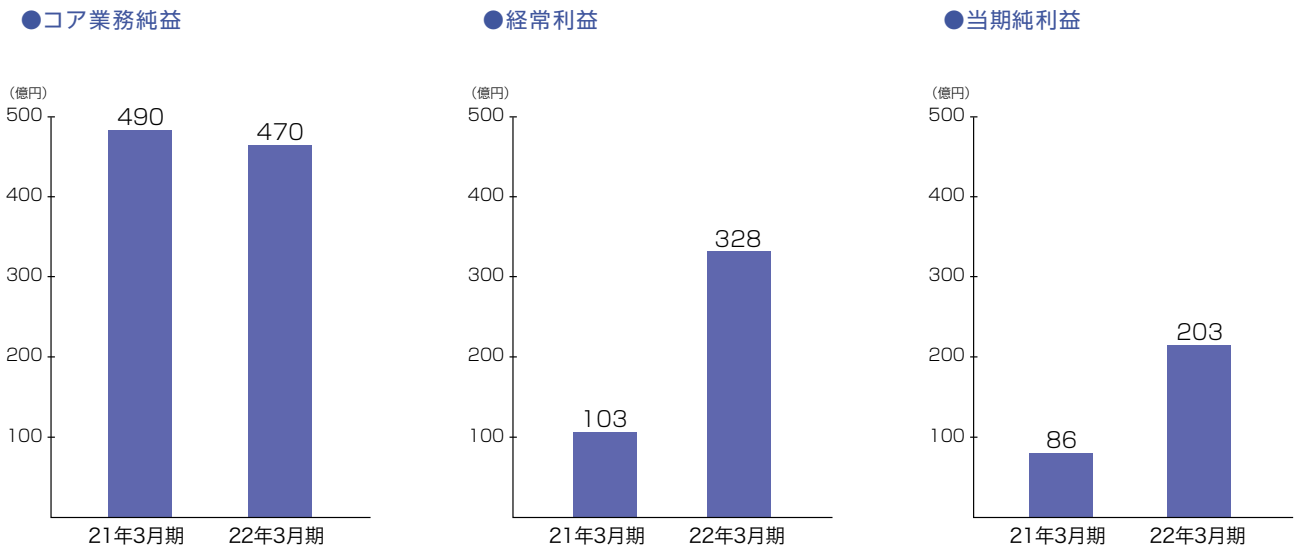
ATM/1,944台:店内924台、店外1,020台
(うちコンビニATM561台:ローソン466台、am/pm95台)



損益の状況 (単体)

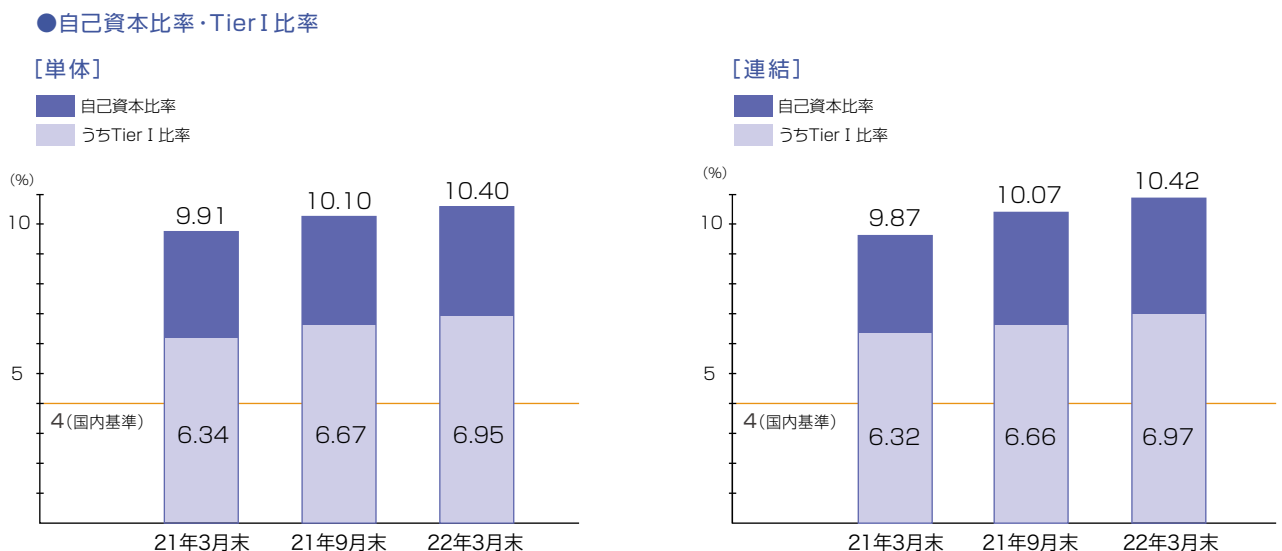
国債等債券損益の改善によりその他業務利益が増加しましたが、貸出金や有価証券等の運用利回りの低下による資金利益の減少を主因に平成22年3月期のコア業務純益は470億円となりました。

また、株式関係損益の改善や信用コストの減少等を主因に経常利益は328億円、当期純利益は203億円となりました。



自己資本比率の状況

平成22年3月末の自己資本比率は、単体で10.40%、連結で10.42%となりました。また、中核的自己資本であるTier I 比率は、単体で6.95%、連結で6.97%となりました。今後も資本の充実を図り、自己資本比率の向上に努めてまいります。



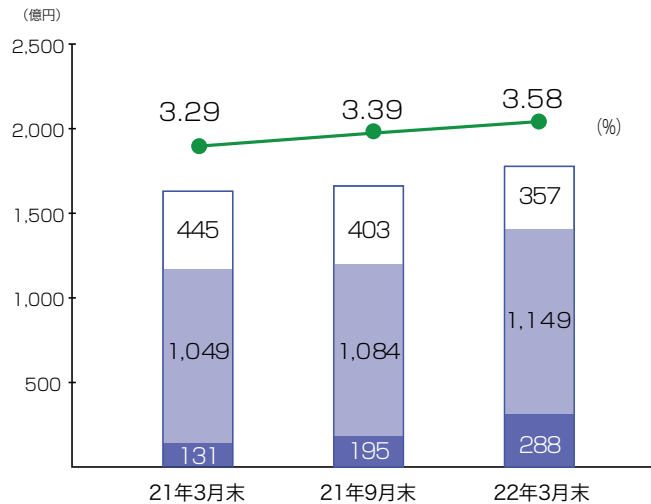
不良債権の状況（※分割子会社合算ベース）

平成22年3月末の金融再生法に基づく開示債権の残高は、資産の自己査定基準に基づき、償却・引当を実施した結果、平成21年3月末比168億円増加し1,794億円となり、開示債権比率は3.58%となりました。

※分割子会社合算ベース＝銀行単体＋NCBターンアラウンド株式会社

●不良債権比率

□ 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 □ 危険債権 □ 要管理債権 ● 金融再生法開示債権比率



用語説明

コア業務純益

預貸金業務などによる“資金利益”や投資信託等の販売手数料などの“役務取引等利益”などを含む“業務粗利益”から“経費”を差し引いたもので、銀行本来業務の収益力を表す指標として一般的に用いられています。

$$\text{コア業務純益} = \text{業務粗利益 (除く国債等債券損益)} - \text{経費}$$

自己資本比率

銀行の健全性を示す指標のひとつです。
国内基準で4%以上を維持することが求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本 (資本金など)}}{\text{リスク度合を考慮した資産}}$$

Tier I 比率

自己資本のうち資本金・資本剰余金・利益剰余金などの基本的項目をもとに算出される自己資本比率です。

用語説明 ～金融再生法による開示債権の定義～

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産・会社更生・再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

危険債権

債務者が、経営破綻の状態には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約通りの返済を受けることができなくなる可能性の高い債権

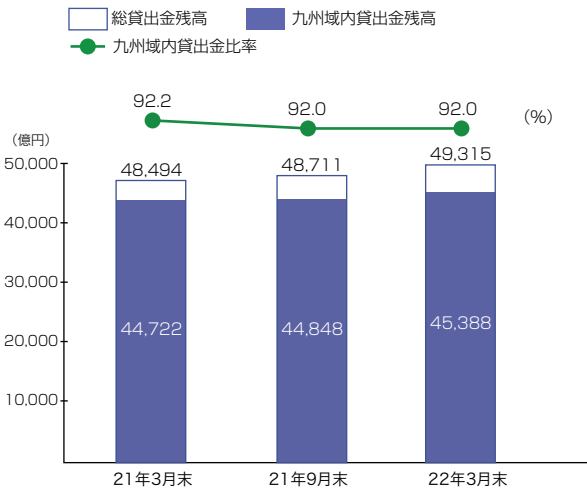
要管理債権

3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

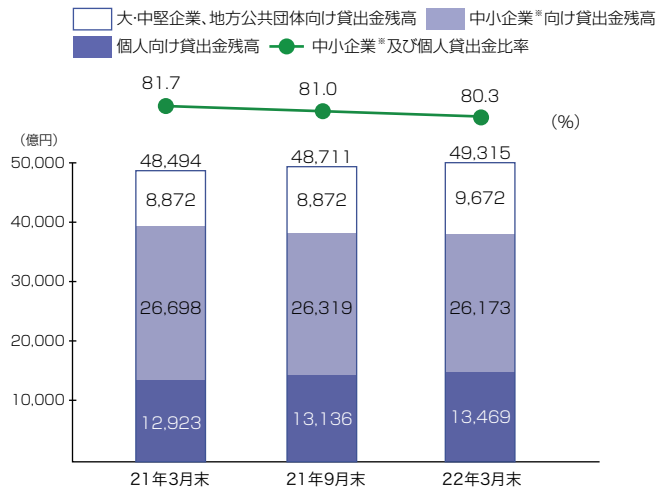
貸出金の状況

平成22年3月末の総貸出金のうち、九州域内での貸出金の比率が92.0%、また、中小企業^{*}及び個人への貸出金の比率が80.3%と九州の特に中小企業・個人のお客さまを中心とした様々な資金ニーズにお応えしております。

●貸出金と地域の内訳



●貸出金と対象先の内訳

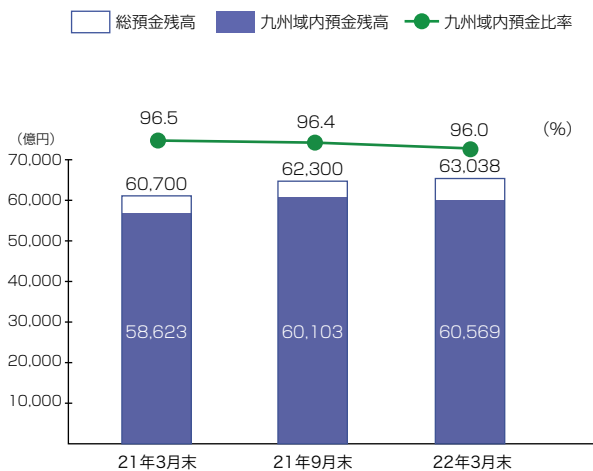


^{*}中小企業…資本金3億円(但し、卸売業は1億円、小売業、サービス業は5千万円)以下の会社または常用する従業員が300人(但し、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人)以下の会社及び個人事業主

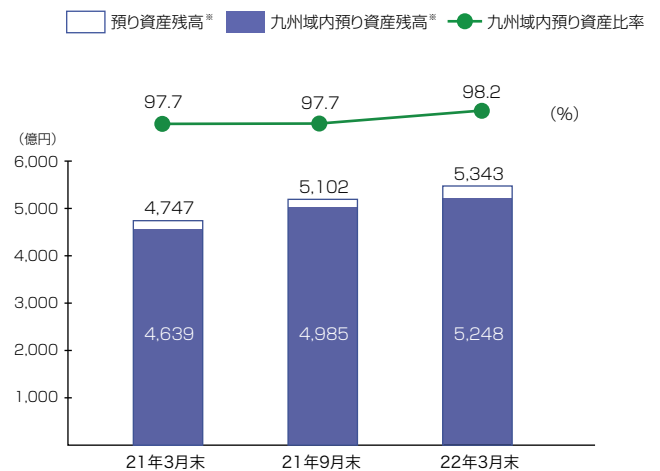
預金・預り資産の状況

平成22年3月末の譲渡性預金を含む預金残高のうち、九州域内での預金の比率が96.0%、預り資産(投資信託・個人年金保険)のうち九州域内での預り資産の比率が98.2%となっており、九州地域の皆さまから多くのご資産をお預りするとともに、皆さまの多様なニーズにお応えするため、商品・サービスの充実を図っております。

●預金(譲渡性預金を含む)と地域の内訳



●預り資産(投資信託・個人年金保険)と地域の内訳



^{*}預り資産残高=投資信託残高+個人年金保険販売累計額

株式の状況

発行可能株式総数	1,800,000,000株	〔内普通株式 1,500,000,000株 内優先株式 300,000,000株〕
平成22年3月31日の発行済株式の総数	831,732,552株	〔内普通株式 796,732,552株 内第一回優先株式 35,000,000株〕
平成22年3月31日の株主数		〔普通株式 22,784名 第一回優先株式 1名〕

大株主（普通株式）

(平成22年3月31日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	81,935	10.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	48,485	6.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	37,891	4.75
日本生命保険相互会社	20,477	2.57
富士火災海上保険株式会社	18,746	2.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	14,519	1.82
東京海上日動火災保険株式会社	14,099	1.76
株式会社みずほコーポレート銀行	13,507	1.69
株式会社りそな銀行	11,000	1.38
明治安田生命保険相互会社	10,945	1.37

(注) 1.所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。2.持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

大株主（第一回優先株式）

(平成22年3月31日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社整理回収機構	35,000	100.00

株式のご案内

- 1. 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
- 2. 定時株主総会** 6月に開催いたします。
- 3. 配当金の**
お支払いについて **期末配当金**
3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いいたします。
中間配当金
取締役会の決議によって中間配当を行う場合は、9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いいたします。
配当金のお受取りには、当行の預金口座への振込をご利用いただけますと、速くて便利です。
- 4. 基準日** 定時株主総会については3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 5. 公告方法** 電子公告による公告とし、当行ホームページ(<http://www.ncbank.co.jp>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、西日本新聞と日本経済新聞に掲載いたします。
- 6. 株主名簿管理人**
特別口座の
口座管理機関
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社

(1) **事務取扱場所** 福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
電話：福岡(092)741-0284

(2) **お問合せ先** 〒137-8650
東京都江東区塩浜二丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理人部
☎0120-707-843 (フリーダイヤル)

(ご注意) 株主様の住所変更、買増・買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成22年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
現金預け金	275,718	預 金	6,320,854
コールローン及び買入手形	1,193	譲 渡 性 預 金	148,787
買入金銭債権	36,050	コールマネー及び売渡手形	100,341
特定取引資産	863	債券貸借取引受入担保金	29,554
金銭の信託	3,000	借 用 金	80,410
有価証券	1,597,140	外 国 為 替	241
貸 出 金	5,147,505	社 会 債	103,500
外国為替	2,972	信託勘定借	15
その他資産	43,375	その他負債	55,013
有形固定資産	121,689	退職給付引当金	11,558
無形固定資産	3,150	役員退職慰労引当金	1,104
繰延税金資産	44,878	睡眠預金戻戻損失引当金	1,034
支払承諾見返	74,781	偶発損失引当金	1,524
貸倒引当金	△ 63,756	再評価に係る繰延税金負債	22,507
投資損失引当金	△ 671	支 払 承 諾	74,781
		負債の部合計	6,951,231
		純資産の部	
		資 本 金	85,745
		資 本 剰 余 金	90,301
		利 益 剰 余 金	100,681
		自 己 株 式	△ 643
		(株主資本合計)	(276,085)
		その他有価証券評価差額金	5,720
		繰延ヘッジ損益	△1
		土地再評価差額金	27,970
		為替換算調整勘定	△ 0
		(評価・換算差額等合計)	(33,688)
		少 数 株 主 持 分	26,887
		純資産の部合計	336,661
資産の部合計	7,287,892	負債及び純資産の部合計	7,287,892

連結損益計算書 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位：百万円)

科目	金額
経 常 収 益	170,865
資 金 運 用 収 益	132,648
(うち貸出金利息)	(112,743)
(うち有価証券利息配当金)	(19,035)
信 託 報 酬	8
役 務 取 引 等 収 益	29,186
特 定 取 引 収 益	67
そ の 他 業 務 収 益	4,895
そ の 他 経 常 収 益	4,058
経 常 費 用	134,632
資 金 調 達 費 用	18,238
(うち預金利息)	(14,216)
役 務 取 引 等 費 用	9,590
そ の 他 業 務 費 用	3,268
営 業 経 費	84,835
そ の 他 経 常 費 用	18,699
経 常 利 益	36,233
特 別 利 益	2,671
特 別 損 失	1,070
税金等調整前当期純利益	37,834
法人税、住民税及び事業税	159
法 人 税 等 調 整 額	14,230
法 人 税 等 合 計	14,390
少 数 株 主 利 益	1,643
当 期 純 利 益	21,800

連結株主資本等変動計算書 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位：百万円)

科目	金額
株主資本	
資本金	
前期末残高	85,745
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	85,745
資本剰余金	
前期末残高	90,301
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	90,301
利益剰余金	
前期末残高	82,349
当期変動額	△3,601
剰余金の配当	21,800
当期純利益	△49
自己株式の処分	142
土地再評価差額金の取崩	18,332
当期変動額合計	100,681
当期末残高	100,681
自己株式	
前期末残高	△615
当期変動額	△49
自己株式の取得	21
自己株式の処分	△27
当期変動額合計	△643
当期末残高	△643
株主資本合計	257,780
前期末残高	257,780
当期変動額	△3,601
剰余金の配当	21,800
当期純利益	△49
自己株式の取得	11
自己株式の処分	142
土地再評価差額金の取崩	18,304
当期変動額合計	276,085
当期末残高	276,085
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	△21,411
当期変動額	27,131
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	27,131
当期変動額合計	5,720
当期末残高	5,720
繰越ヘッジ損益	
前期末残高	△2
当期変動額	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	0
当期変動額合計	△1
当期末残高	△1
土地再評価差額金	
前期末残高	28,112
当期変動額	△142
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△142
当期変動額合計	27,970
当期末残高	27,970
為替換算調整勘定	
前期末残高	△0
当期変動額	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△0
当期変動額合計	△0
当期末残高	△0
評価・換算差額等合計	6,698
前期末残高	26,990
当期変動額	26,990
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	33,688
当期変動額合計	
当期末残高	33,688
少数株主持分	
前期末残高	25,253
当期変動額	1,633
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,633
当期変動額合計	26,887
当期末残高	26,887
純資産合計	
前期末残高	289,733
当期変動額	△3,601
剰余金の配当	21,800
当期純利益	△49
自己株式の取得	11
自己株式の処分	142
土地再評価差額金の取崩	28,623
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	46,928
当期変動額合計	336,661
当期末残高	336,661

財務諸表

貸借対照表 (平成22年3月31日現在)

(単位: 百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
現金預け金	261,590	預金	6,130,812
コールローン	1,193	譲渡性預金	172,987
買入金銭債権	12,201	コールマネー	100,341
特定取引資産	860	債券貸借取引受入担保金	29,554
金銭の信託	3,000	借入金	97,857
有価証券	1,642,514	外国為替	241
貸出金	4,931,582	社債	92,000
外国為替	2,972	信託勘定借	15
その他資産	40,738	その他負債	31,460
有形固定資産	117,042	退職給付引当金	10,444
無形固定資産	2,534	役員退職慰労引当金	863
繰延税金資産	40,532	睡眠預金払戻損失引当金	1,003
支払承諾見返	51,260	偶発損失引当金	1,455
貸倒引当金	△47,451	再評価に係る繰延税金負債	21,960
投資損失引当金	△12,139	支払承諾	51,260
		負債の部合計	6,742,259
		純資産の部	
		資本金	85,745
		資本剰余金	85,684
		資本準備金	85,684
		利益剰余金	101,966
		利益準備金	61
		その他利益剰余金	101,904
		圧縮積立金	3
		別途積立金	81,422
		繰越利益剰余金	20,478
		自己株式	△643
		(株主資本合計)	(272,752)
		その他有価証券評価差額金	5,452
		繰延ヘッジ損益	△1
		土地再評価差額金	27,970
		(評価・換算差額等合計)	(33,421)
		純資産の部合計	306,174
資産の部合計	7,048,434	負債及び純資産の部合計	7,048,434

損益計算書 (平成21年4月1日~平成22年3月31日)

(単位: 百万円)

科目	金額
経常収益	156,656
資金運用収益	124,153
(うち貸出金利息)	(105,135)
(うち有価証券利息配当金)	(18,654)
信託報酬	8
役務取引等収益	24,265
特定取引収益	67
その他業務収益	4,494
その他経常収益	3,666
経常費用	123,782
資金調達費用	18,030
(うち預金利息)	(13,490)
役務取引等費用	11,043
その他業務費用	3,149
営業経費	76,244
その他経常費用	15,313
経常利益	32,873
特別利益	2,328
特別損失	994
税引前当期純利益	34,208
法人税、住民税及び事業税	74
法人税等調整額	13,787
法人税等合計	13,862
当期純利益	20,345

(ご参考)

信託財産残高表 (平成22年3月31日現在)

(単位: 百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
有形固定資産	1,141	包括信託	1,281
銀行勘定貸	15		
現金預け金	124		
資産の部合計	1,281	負債の部合計	1,281

株主資本等変動計算書 (平成21年4月1日~平成22年3月31日)

(単位: 百万円)

科目	金額
株主資本	
資本金	
前期末残高	85,745
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	85,745
資本剰余金	
資本準備金	
前期末残高	85,684
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	85,684
資本剰余金合計	85,684
前期末残高	85,684
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	85,684
利益剰余金	
利益準備金	
前期末残高	61
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	61
その他利益剰余金	
圧縮積立金	
前期末残高	3
当期変動額	—
繰越利益剰余金の取崩	△0
当期変動額合計	△0
当期末残高	3
別途積立金	
前期末残高	76,039
当期変動額	—
別途積立金の積立	5,382
当期変動額合計	5,382
当期末残高	81,422
繰越利益剰余金	
前期末残高	8,984
当期変動額	—
剰余金の配当	△3,601
圧縮積立金の取崩	0
別途積立金の積立	△5,382
当期純利益	20,345
自己株式の処分	△9
土地再評価差額金の取崩	142
当期変動額合計	11,494
当期末残高	20,478
利益剰余金合計	
前期末残高	85,089
当期変動額	—
剰余金の配当	△3,601
圧縮積立金の取崩	—
別途積立金の積立	—
当期純利益	20,345
自己株式の処分	△9
土地再評価差額金の取崩	142
当期変動額合計	16,876
当期末残高	101,966
自己株式	
前期末残高	△615
当期変動額	—
自己株式の取得	△49
自己株式の処分	21
当期変動額合計	△27
当期末残高	△643
株主資本合計	255,903
前期末残高	255,903
当期変動額	—
剰余金の配当	△3,601
当期純利益	20,345
自己株式の取得	△49
自己株式の処分	11
土地再評価差額金の取崩	142
当期変動額合計	16,849
当期末残高	272,752
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	△19,953
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	25,406
当期変動額合計	25,406
当期末残高	5,452
繰越ヘッジ損益	
前期末残高	△2
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	0
当期変動額合計	0
当期末残高	△1
土地再評価差額金	
前期末残高	28,112
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△142
当期変動額合計	△142
当期末残高	27,970
評価・換算差額等合計	
前期末残高	8,156
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	25,264
当期変動額合計	25,264
当期末残高	33,421
純資産合計	
前期末残高	264,060
当期変動額	—
剰余金の配当	△3,601
当期純利益	20,345
自己株式の取得	△49
自己株式の処分	11
土地再評価差額金の取崩	142
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	25,264
当期変動額合計	42,114
当期末残高	306,174

*表頁「□」がある箇所はオレンジの表紙側よりご覧ください